

お悩みありませんか? <ろうきん>で悩みのキリが晴れるかも!?

金利が上がったら どうしよう

育休中でも ローンは組める?

ペアローン利用中。 万が一の時残された家族に ローンが残るのが不安

詳しくは はこちら

- ✓「全期間固定金利型」や「固定金利特約型 20年」等選択可能です。「変動金利型」を組み合わせた「金利ミックス」もあります。
- ✓育児休業中でも住宅ローンをお申込みいただけます。
- ✓ペアローンに対応した夫婦連生団信もあります。

住宅ローン

団体信用 生命保険

授業料の他にも 費用がかかって大変!

子どものために 積立したい

合格発表から 入学金を振込するまでの 期間が短い!

- ✓入学金や授業料の他、下宿費用などにもご利用いただけます。
- ✓志望校が決まったら受験の前から教育ローンの仮審査が申込みます。
- ✓子どものためのオトクな積立預金あります。

教育ローン

Rukuo 子ども積立

どうやって 積立したらいい?

窓口で 相談したい

ゆとりある セカンドライフ

今、話題の 新NISAって何!?

- ✓<ろうきん>の財形貯蓄契約件数は金融機関全業態でNo.1!
- ✓普通預金口座から自動的に積立できる預金もあります。
- ✓NISAなどの資産運用商品についてご相談いただけます。

財形貯蓄

エース預金

投資信託

ご相談方法は、お客様のご都合に合わせて

ご来店～最寄りの支店・ローンセンターへ行く～

店舗の検索は はこちらから!

毎月第3土曜日は 開催時間 10:00～17:00

相談会の日

ローンセンター

営業時間 平日 10:00～18:00 土・日 10:00～17:00

定休日 火曜日・水曜日・祝日

【相談会】※一部未開催の店舗がございます。※店舗によっては、相談会の開催時間が異なる場合がございます。【ローンセンター】※祝日・土・日曜日の場合は営業(10:00～17:00)いたします。※12月31日～1月3日は休業となります。※定休日(火・水・祝日)以外にも特定休業日がございます。

まずはWEBでお申込み!

24時間 ローン仮審査申込み

お電話でのご相談 コンタクトセンター 土・日も気軽に

0120-383-837

平日 9:00～19:00 土・日 10:00～17:00

※祝日は休業となります(土・日曜日と重なる場合は、営業いたします)。 ※12月31日～1月3日は休業となります。

対象の商品 無担保ローン・カードローン(マイプラン)、iDeCo、投資信託・国債

生協会員ご本人さまや、ご家族が生協会員であれば、<中央ろうきん>と生協が提携したコープローン(生協組合員融資制度)がご利用いただけます。【コープローン申込資格について】●中央労働金庫の会員のうち、生協組合員融資制度を導入している生協の組合員と、その同一生計家族の方で自宅もしくはお勤め先が当金庫の事業エリア内(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県)にある方がご利用いただけます。同一生計家族の方がご利用される場合は、中央ろうきん友の会に入会することが必要となります。●団体・生協会員の方以外は、ご利用にあたって中央ろうきん友の会に入会すること、または当金庫の個人会員(最低出資金1,000円が必要)となる必要がある場合があります。団体会員とは…中央労働金庫に出資いただいている次の団体をお願いします。①労働組合②国家公務員・地方公務員等の団体③勤労者のための福利共済活動を目的とする団体で、一定の条件を満たすもの。なお、対象とならない場合もあります。 ※詳しいお問い合わせ・ご相談は<中央ろうきん>生協会員専用フリーダイヤル(0120-692-506)、または営業店までお問い合わせください。本情報誌の掲載内容は2023年11月30日現在。

知っ得情報



人生の3大資金特集号

物価上昇に聖域なし!?! 人生の3大資金を考えよう!

大学進学費用はいくら準備すればいいの?

老後資金は公的年金だけで足りる?

住宅ローンの金利が気になる!

住宅・教育・老後資金を「人生の3大資金」といいます。

将来のために情報収集と計画的な準備が大切です。

マスコットキャラクター「ロッキー」

マスコットキャラクター「ピンキー」

営利を目的としない 金融機関<ろうきん>

<ろうきん>は生協や労働組合などの働く仲間がお互いを助け合うために資金を出し合ってきた、協同組織の金融機関です。生まれた利益を便利な商品やサービスとして利用者に還元しています。

働く人から働く人へ <意思のあるお金>の循環

お預かりした資金は、大切な共有財産として、住宅・教育・マイカーなど働く仲間とその家族の暮らしを守り、より豊かにするために役立てられています。

融資の 99.58%は 個人の方へ

※2023年 3月末現在

<ろうきん>SDGs 行動指針のご紹介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

～ろうきんのSDGs達成に向けた取組み～

スマホで スキャン!

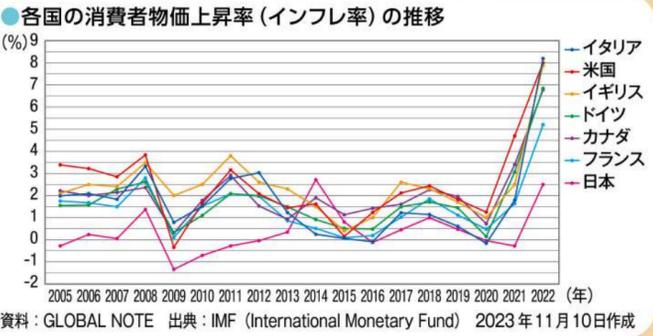
物価上昇に
聖域なし!?

避けられない!? 人生の3大資金

(住宅資金、教育資金・老後資金) について考えよう!

物価上昇が生活を直撃!!

みなさんも生活の中で物価上昇を実感されているのではないのでしょうか。各国の消費者物価上昇率は右のグラフのとおり、2022年度に急激に上昇しており、日本も例外ではありません。人生には、大きなお金を必要とするライフイベントが3つあり、住宅、教育、老後資金にかかる資金を「人生の3大資金」といい、家計をやりくりして準備していく必要がありますよね。これらの資金について注意点や必要額等をご紹介します。必要であれば早めの貯蓄を心掛けたり、現在のローンを見直すことを考えたいですね。

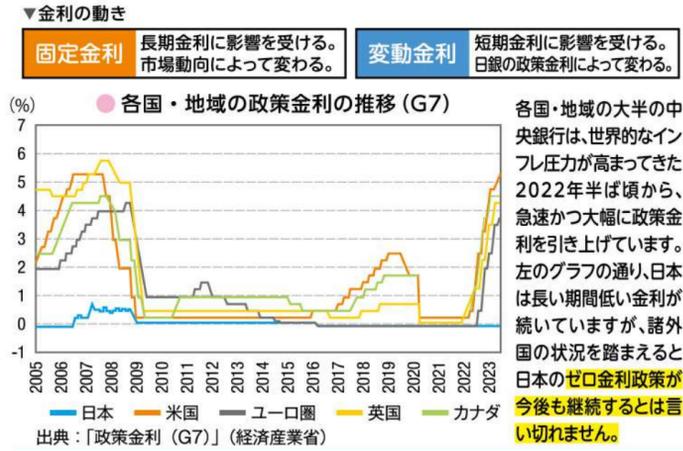


その1 住宅資金～住宅ローン 金利変動リスクに備えよう～

住宅ローンは家計の中で大きな割合を占めることが多いため、今後金利が変動した場合、家計にどのような影響があるのか、ご自身の契約を確認しておくことが大切です。

● **利用者の7割が変動金利型を選択!** 米国では、連邦住宅金融庁(FHFA)の昨年末時点でのデータによると、30年固定金利型の住宅ローン残高が全体の85.2%を占めており、変動金利型はごく少数でしかありません。かたや日本では、住宅支援機構の調査によると、全体の72.3%が変動金利型を選択しており、多くの方が金利変動リスクを抱えていると言えます。出典文献はNRIの刊行物「金融ITフォーカス 2023年8月号」のデータをもとに(中央ろうきん)が作成

● 日本のゼロ金利政策が解除されるかも!?



● 「変動金利型」の「5年ルール」と「125%ルール」など今一度確認を!

多くの金融機関では変動金利型を選択していても「5年ルール」「125%ルール」があるため、毎月の返済額はすぐには変わりません。大切なのは、ご自身の契約内容をよく理解することです。

5年ルール	金利は半年ごとに見直されるが、返済額は5年ごとに見直される。
125%ルール	5年ごとに返済額を見直す際、見直し前の125%までしか毎月返済額を上げない。

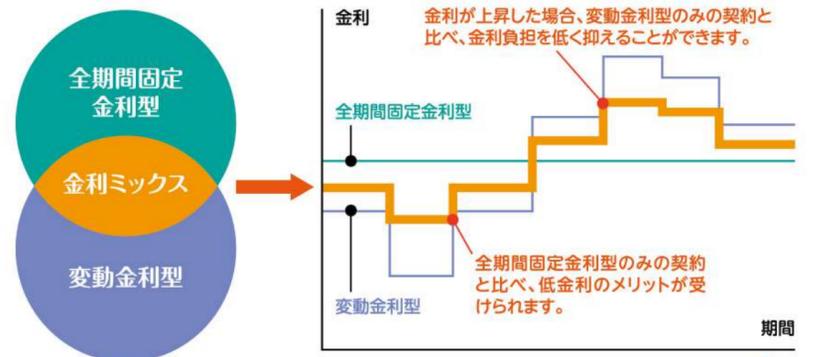
元利均等返済方式の「変動金利型」の場合、金利が上昇すると毎月の返済額は変わらなくても、利息が膨らみ元金が減らない場合があります。5年経過後は125%まで毎月の返済額が上がる場合もあるので、心配なら早めにご相談を!

一部のネット銀行などでは「5年ルール」「125%ルール」がない場合があります。返済額が急に上がるケースもあるので、ご自身の契約を確認してみましょう。

金利変動リスクをどう抑える?

長期間の返済となる住宅ローンは、金利変動リスクへの備えが大切です。金利変動リスクを抑える方法の1つとして、繰上げ返済があります。繰上げ返済には①返済期間の短縮(返済期間を変えずに毎回の返済額を軽減する方法もあります。)②利息の軽減というメリットがあります。繰上げ返済をする場合、いざという時の資金は手元に残しておくことがポイントです。また右の表のような「固定金利型」と「変動金利型」など異なる金利タイプを組み合わせた**金利ミックス**を選択できる金融機関もあります。

異なる金利タイプ(固定金利型・変動金利型)の組み合わせの一例



おいしいとこを、いいとこどり!

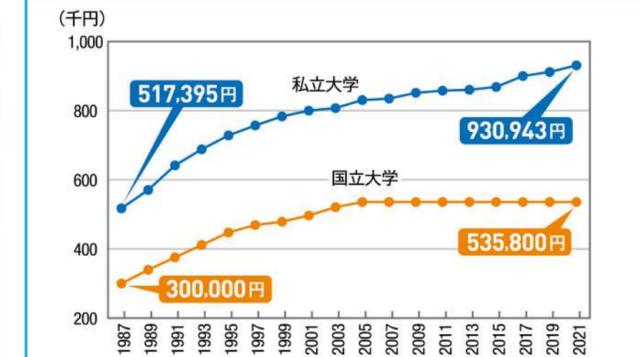
住宅ローン 見直しのタイミング

- 景気変動による金利の変動
- 仕事や年収が変わった
- 家族構成が変わった

その2 教育資金～大学の授業料・学習塾の費用は上昇傾向!～

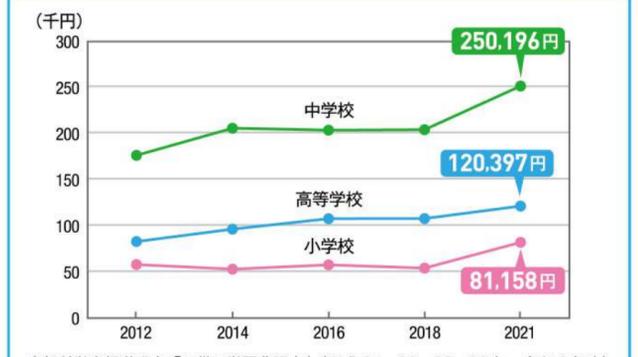
子どもの成長とともに気になっていくのが教育資金。大学などの学費は上昇傾向にあります。子どもの未来を応援するためにも、進学先の入学料や授業料だけでなく、**学生生活に必要な資金**についても事前に調べておくことが大切です。小学校から高等学校の間の学習塾費などについても見込んでおく必要があるかもしれません。また、教育資金が不足する場合を想定して就学支援制度や奨学金、教育ローンについても調べておく安心ですね。

国立大学と私立大学の入学年度授業料の推移



国立大学の入学年度授業料を1987年と2021年で比較すると約1.7倍に上昇していることがわかります。入学年度には授業料の他、入学料や教科書やパソコン購入費用なども必要となります。子どもがいざ進学となった時、想定していたよりも多くの資金が必要になるかもしれません。子どもが小さいうちから、**少額からでも積立をはじめる**ことが大切です。

公立の小学校・中学校・高等学校に通学している子どもの学習塾費(平均)



学習塾などの費用は、増加傾向にあります。実際の費用は、学習塾により異なりますが、冬期講習や特別講習などの想定外の出費があることも。あらかじめ、パンフレットやホームページ等で、授業料などを調べておきましょう。

夏期講習 冬期講習 特別講習 想定外の出費も!

その3 老後資金～2,000万円足りる? 足りない?～

老後にどれくらいの生活費が必要か気になりますよね。令和3年度家計調査年報(総務省統計局)によると、定年退職後世帯の生活費(総支出)は以下のようになっています。

- 夫婦2人以上の世帯 : 約25万5千円(月額)
- 単身世帯 : 約14万5千円(月額)

公的年金で受け取ることができる年金額は一人ひとり異なります。誕生日に届く「ねんきん定期便」でも紹介されている「**公的年金シミュレーター**」で年金額の試算ができますので活用してみてください。公的年金の受取額を参考に、自助努力で準備しなければならない老後のための資金を計算してみましょう。人生100年時代、お金の心配をすることなく、セカンドライフを楽しみたいですね。

平均余命からみる老後に必要な生活費

約306万円/年 × 24年 = 7,344万円

約174万円/年 × 5年 = 870万円

公的年金に加えて「自助努力」が必要かも!?

60歳 84歳

夫 60歳男性の平均余命(約24年)*

妻 60歳女性の平均余命(約29年)*

60歳 84歳 89歳

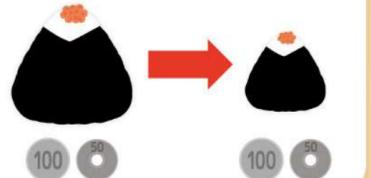
※平均余命 令和3年 簡易生命表(厚生労働省)より

老後に必要な生活費(総額) = 毎月生活費 × 老後期間

約8,214万円

● タンス預金だけだとお金の価値は目減りしている!?

少子高齢化により、今後も現役世代の「社会保険料」負担の増加、年金の支給開始年齢の引き上げや年金額の減額が検討される可能性があります。また、物価上昇(インフレ)が進むと同じ金額を出しても、購入できる量が少なくなるかも。来るべき老後に備え、自助努力で老後に必要な資金を貯めておくことが求められます。ただし、タンス預金では物価上昇には対処できません。お金を増やす手段として**自分なりの「運用」(お金を増やす)方法を決める**ことも大切ではないでしょうか。



まとめ～将来の安心のために現実的なライフプランを立てよう～

無理なくコツコツと計画的に準備することが大切

確実に貯蓄するのであれば「**先取貯蓄**」がお勧めです。財形貯蓄や社内預金制度など、先取貯蓄する制度があるなら活用しない手はありません。今は超低金利時代なので預金だけではなかなか利息はつきませんが、リスクに応じて預金や資産運用など自分に合った組合せで将来に備えたいですね。

財形貯蓄 積立預金 NISA